取扱説明書

sachtler

Video 18 S2 & 20 S1フルーイドヘッド

Video 18 S2
Video 20 S1
フルーイドヘッド

製品コード Video 18 S2 1811
Video 20 S1 2010

JP

www.sachtler.com

Copyright © 2015

著作権所有。

原版：英語

All rights reserved through the world.

本書の内容の検索システムへの保存、送信、複写、複製は、写真複写、写真、磁気またはその他の記録を含むがこれに限らないいかなる方法においても、Videndum Group plc.の書面による合意および承認なく行うことはできません。

免責事項

本書に記載の情報は、本書の印刷時点では正確と判断されている情報です。Videndum Videocom Ltdは、本書に記載の情報および仕様を予告なく変更する権利を有します。変更内容は本書の改訂版に反映されます。

弊社は、本書を定期的に改訂して、製品仕様や特性の変更を反映するよう努めています。弊社製品の重要な機能に関する情報が本書に記載されていない場合は、ご一報ください。本書の最新版は、弊社ウェブサイトからご利用いただけます。

Videndum Videocom Ltdは、予告なく本製品のデザインおよび機能を変更する権利を有します。

商標

すべての製品の商標および登録商標はVidendum Group Plc.の所有物です。

その他すべての商標および登録商標は、それぞれ各社の所有物です。

発行者

Videndum Videocom Ltd

目次

安全上の注意事項 …… 2
安全上の注意事項および本書について ……3
梱包内容 …… 4
各操作部の名称 …… 5
設置 …… 7
タッチバブル ……7
ヘッドの取り付け …… 7
カメラの取り付けと取り外し ……8
パンバーの取り付け …… 10
カメラバランス調整 ……12
重心の調整 ……12
カウンターバランスの調整 ……15
ドラッグの調整 …… 17
運搬 ……18
保守 ……19
技術仕様 ……20
通知事項 ……21

このたびはザハトラーカメラサポート製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
製品のご使用前に、必ず本取扱説明書をよくお読みになり、製品を正しくお使いください。また、本書は必要な時にいつでも参照できるよう、大切に保管してください。

安全上の注意事項

本製品の安全な取り付けおよび取り扱いに関する重要な情報です。本製品を使用する前に、必ずお読みください。安全な取り扱いのために、下記の注意事項を遵守してください。安全な取り扱い方法を理解してから、本製品を使用してください。この注意事項を保管し、必要なときに参照してください。

本書に使用されている警告マーク

本書には、安全上の注意事項が記載されています。人身傷害の危険や本製品の損傷を回避するために、安全上の注意事項を遵守してください。

警告！ 人身傷害のリスクまたは他人に危害を加えるリスクがある場合、三角形の警告記号が付されたコメントが表示されます。
製品、関連機器、プロセスまたは周囲に損傷を与えるリスクがある場合、「**注意**」という用語が付されたコメントが表示されます。

健康と安全

警告！ 人身傷害または他者への危害につながる危険があります。すべての職員が十分に訓練され、正しい手動の取り扱い手法および健康と安全に関する規制を順守する必要があります。使用する国または地域の関連機関の責任の下に、いかなる時にも安全な作業習慣を徹底します。

取り付けと設置

警告！ ヘッドとそのあらゆる積載物から成る複合体を支持できない三脚にはヘッドを取り付けないでください。

警告！ 指が挟まれる恐れがあります。フルーイドヘッドのプラットフォームと本体の間に指を当てないでください。

注意！ カメラを取り付けていても使用していない場合や、三脚上でフルーイドヘッドの水平出しを行う場合は、水平ブレーキと垂直ブレーキを必ずロックしてください。

注意！ フルーイドヘッドの取り付け時や取り外し時、あるいは三脚の高さや設置面の調整時には、カメラをしっかりと押さえてください。

注意！ カウンターバランスやカメラ位置の調整時には、パンバーから絶対に手を放さないでください。パンバーを使用して三脚やフルーイドヘッドを持ち上げたり移動したりしないでください。

注意！ パンバーには重いものを取り付けないでください。

注意！ 運搬の際は、必ず事前にカメラを取り外してください。

保守

警告！認定外の部品やアクセサリを取り付けたり、認定外のサービス担当者が修理を行ったりした場合、製品の安全性に悪影響を及ぼす恐れがあります。製品保証条件も無効になる可能性があります。

注意！電池交換の際は、本製品で使用することが推奨されたのと同一または同等タイプの電池のみを使用してください。

用途

Sachtler Video 18 S2およびVideo 20 S1フルーイドヘッドは、オペレータが広範な角度によって総体的な画像管理を行えるようにするスムーズなパン・チルト動作を実現するために開発されました。

本書について

本書は、フルーイドヘッドの正しいセットアップ、操作、および保守の手順を示す目的で作成されています。

保証規定

本製品の保証期間は1年間です。

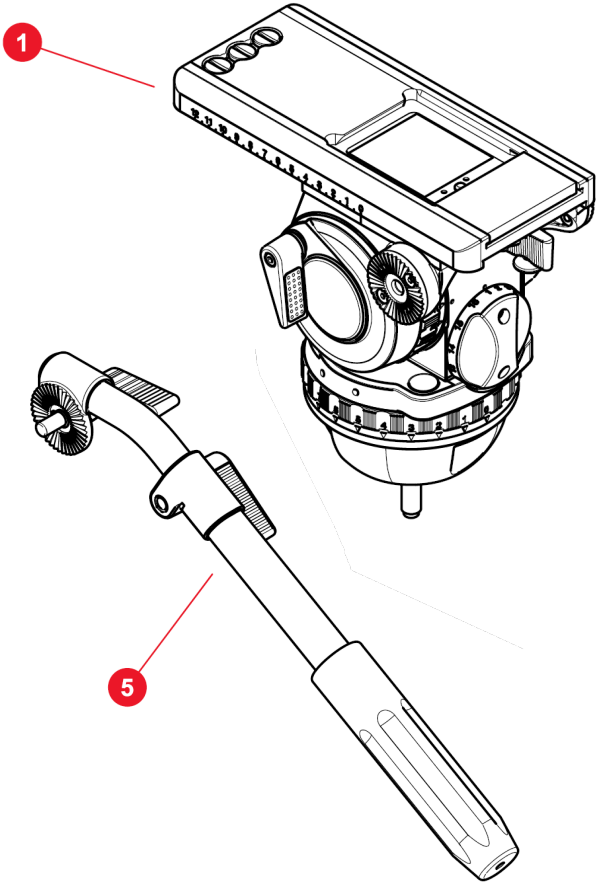
次の場合、保証は無効となります。

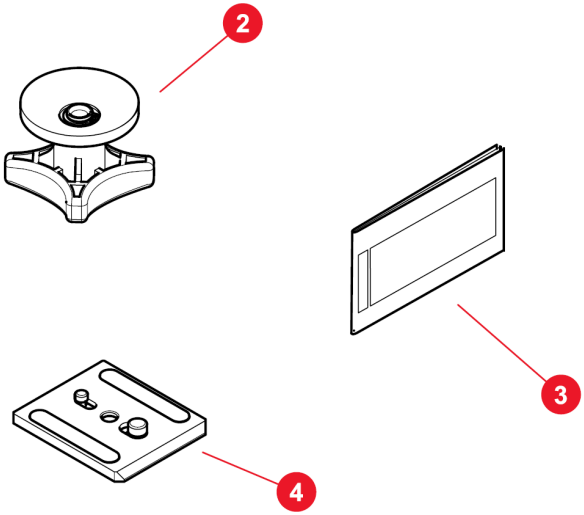
- 本書の記載内容に反する不適切な方法でヘッドを設置または使用した場合。
- ヘッドのハウジングが許可された専門職員以外の者によって開かれた場合。

延長保証

同梱の延長保証はがきをご返送いただきますと、保証期間が1年間延長され、計2年間になります。

梱包内容

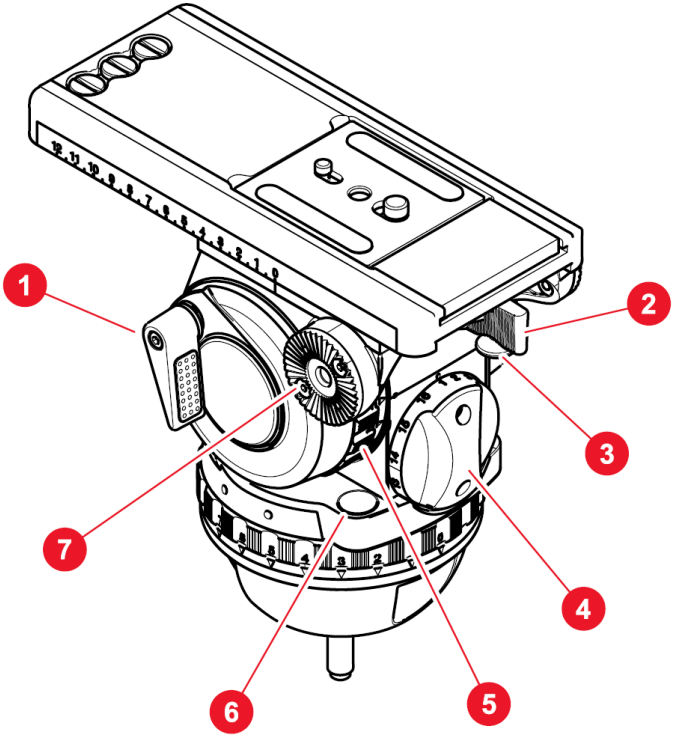




項目	説明	製品コード
1	Video 18 S2またはVideo 20 S1フルーイドヘッド	1811または2010
2	クランプノブ	SKO13B0366
3	取扱説明書	S2022-4980
4	カメラプレート V18	1064
5	パンバー	3270

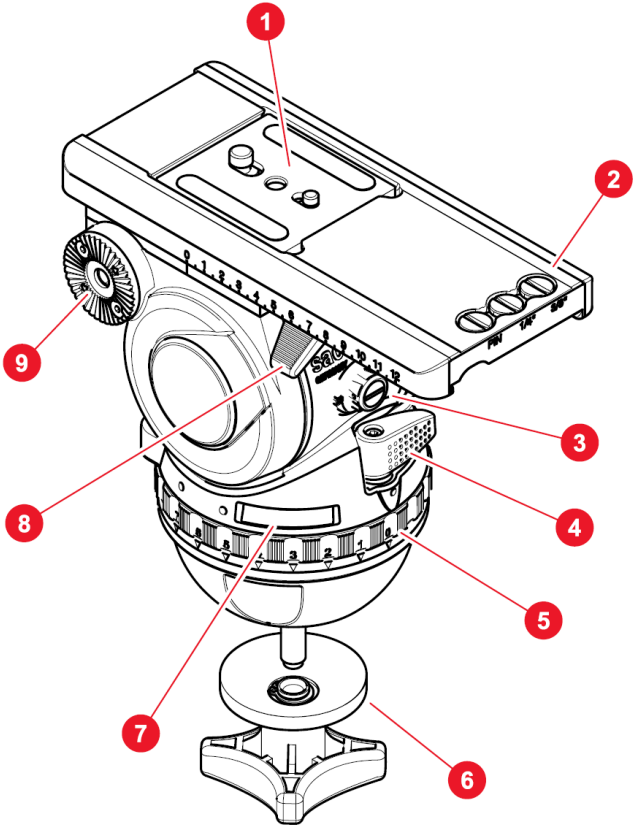
各操作部の名称

左側



1	チルトブレーキ
2	タッチ＆ゴークイックリリースレバー
3	タッチ＆ゴーセーフティロック
4	カウンターバランス調整ノブ
5	チルトドラッグダイヤル
6	自照式タッチバブル水準器
7	左パンバー取付け座（菊座）

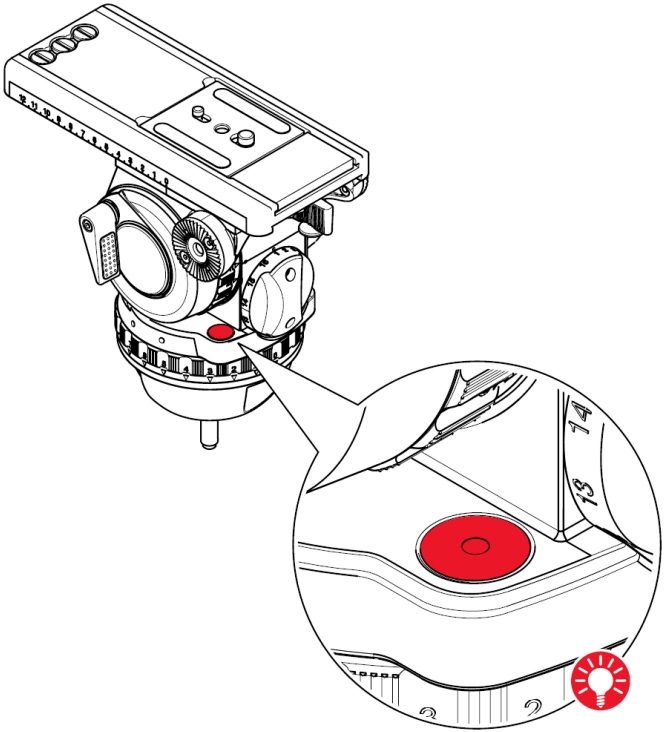
右側



1	カメラプレート
2	スペア用カメラネジ
3	耐荷重域切替スイッチ（ブーストボタン）
4	パンブレーキ
5	パンドラッグダイヤル
6	クランプノブ
7	タッチバブル水準器用バッテリーホルダー
8	バランスプレート固定レバー
9	右パンバー取付け座（菊座）

タッチバブル水準器

フルーイドヘッドには自照式タッチバブル水準器が搭載されており、暗い場所でも容易に水平出しが可能です。照明は水準器上面を押すことにより点灯し、約20秒後に自動的に消えます。

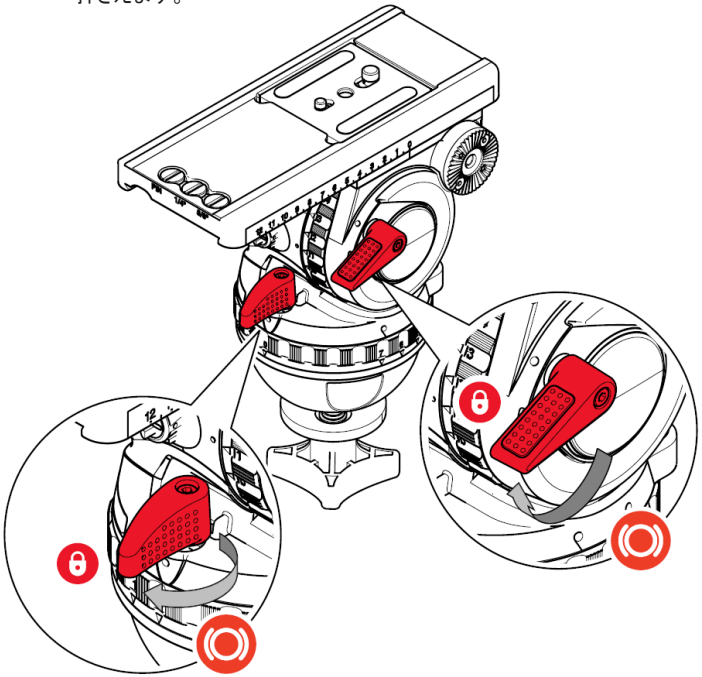


ヘッドの取り付け

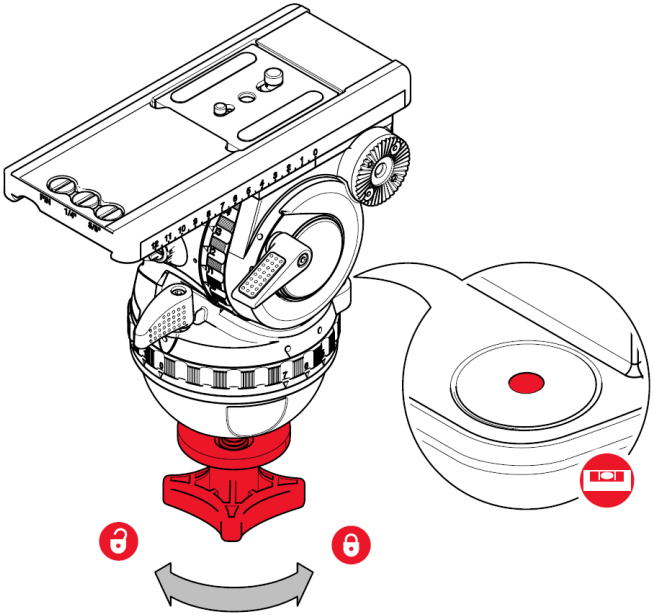
フルーイドヘッドは、100 mmのボール型台座を備えたクランプノブを使用して、標準の三脚上に設置するよう設計されています。フルーイドヘッドは、FBコンバータ(#3913)を使用してスライダやペデスタルに取り付けることができます。

ヘッドの水平化

1. パンブレーキとチルトブレーキをかけ、一方の手でヘッドをしっかりと押さえます。

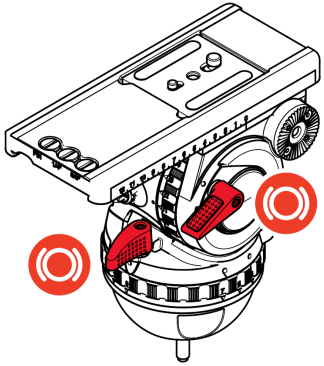


2. クランプノブを緩め、水準気泡が中心となるようにヘッドを動かします。クランプノブを締め、ヘッドを360°完全に回転させたときに水準気泡が中心位置を保つことを確認します。

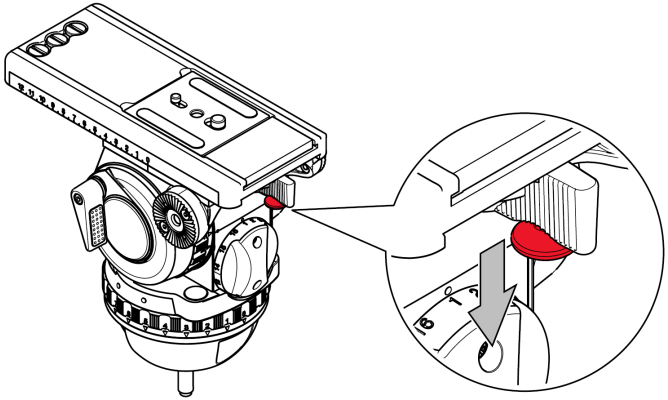


カメラの取り付けと取り外し

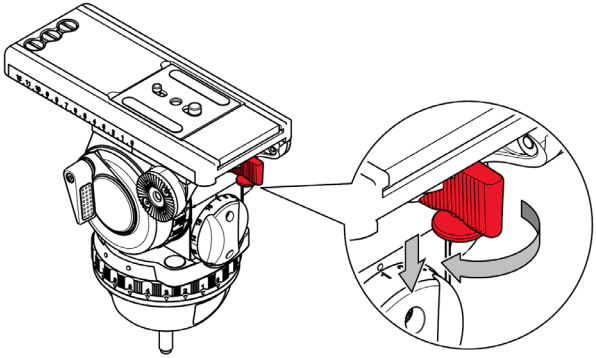
1. パンブレーキとチルトブレーキをかけます。



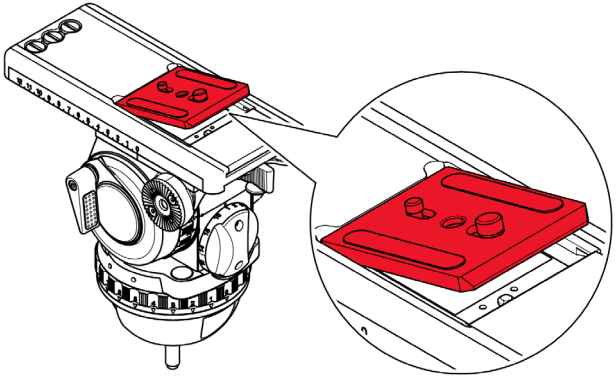
2. 一方の手でプレートまたはカメラを押さえます。親指と人差し指でクイックリリースレバーを握り、セーフティロックを引き下げます。



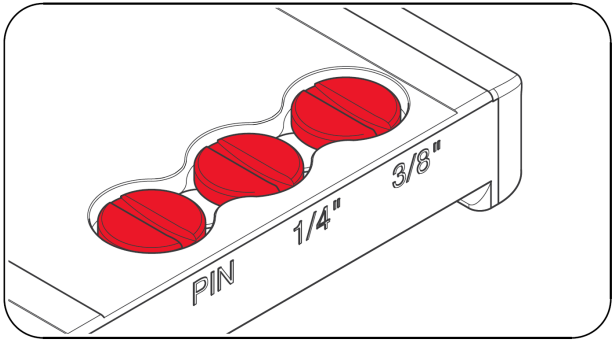
3. セーフティロックを下げたまま、クイックリリースレバーを左へ一杯に動かします。

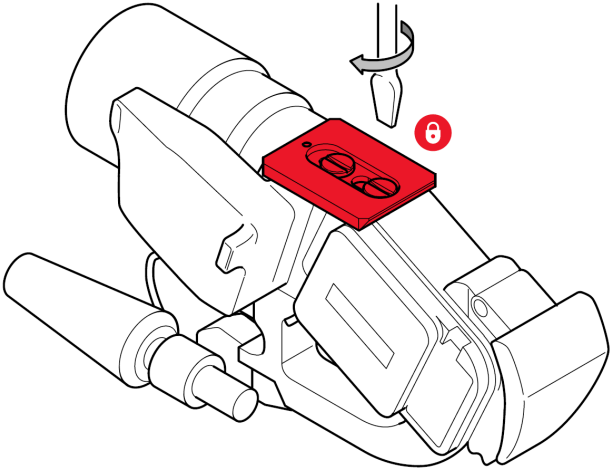


4. プレートまたはカメラが外れます。

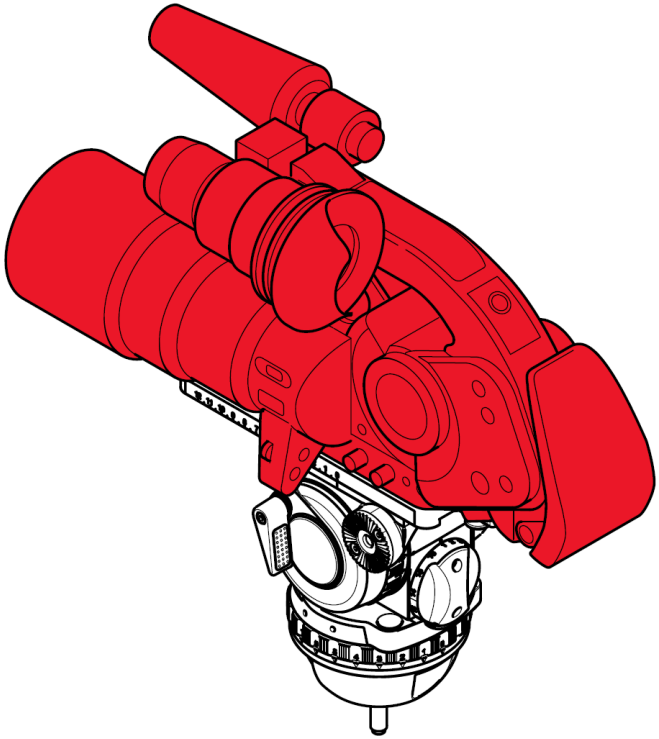


5. カメラの重心付近にカメラプレートを装着します。追加のネジはプラットフォームアセンブリに保管されています。



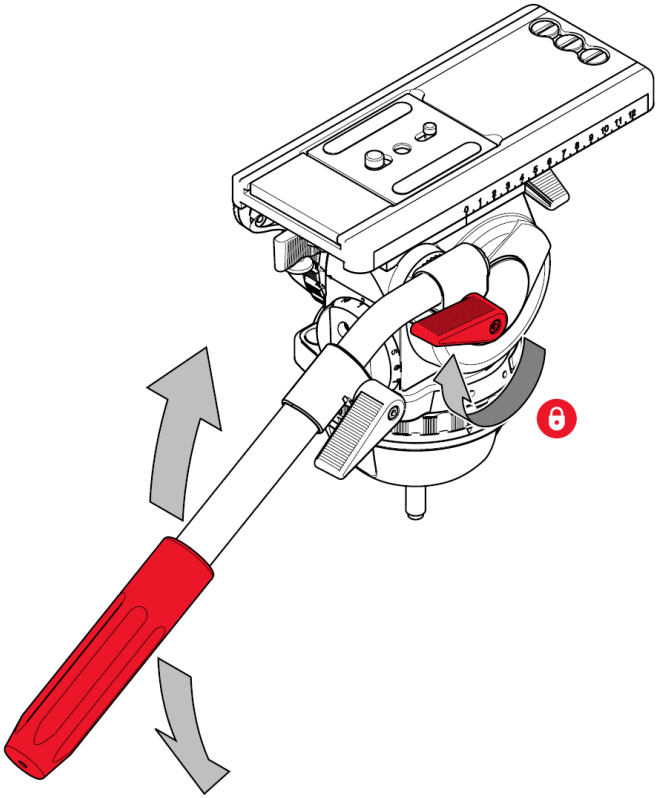


6. カメラとプレートをプラットフォーム上に取り付けます。自動的にロックがかかり、クイックリリースレバーがカチッと鳴って元の位置に戻ります。



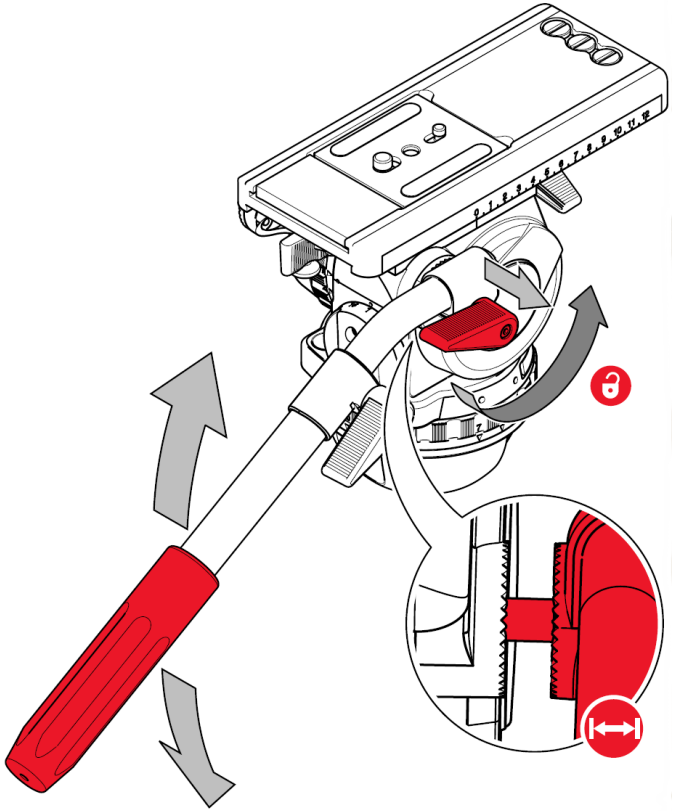
パンバーの取り付け

パンバーを目的の位置に取り付けて調整します。締付ネジを締めて菊座の歯が完全にかみ合うようにしてください。



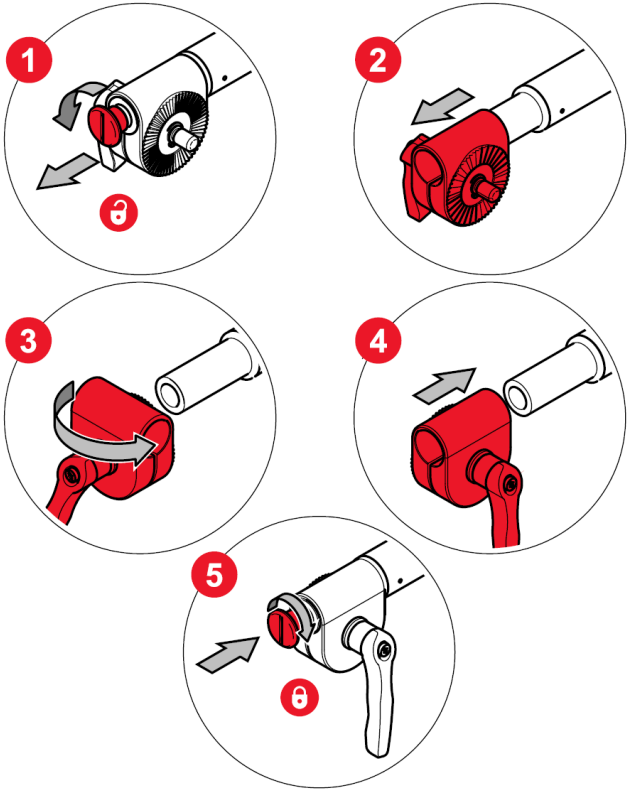
パンバーの調整

パンバーの位置を調整するときは、締付ネジを十分に緩めて菊座が確実に回転できるようにします。



パンバーの設定

デフォルトでは、パンバーはフルーイドヘッドの右側に取り付けるように設定されています。左側に取り付ける場合は、パンバーを次のように設定することができます。



カメラバランス調整

フルーイドヘッドの操作前に、積載物（カメラ、レンズ、装着するその他のアクセサリ）のバランスを正しく調整して、安全で信頼性の高い操作を行えるようにしてください。

警告！積載物のバランス調整を行う際は、バランス調整されていない積載物が突然落下する危険性が存在するという意識が重要です。正しく設定するまでは、積載物をしっかりと押さえるようにしてください。

警告！指が挟まれる恐れがあります。フルーイドヘッドのプラットフォームと本体の間に指を当てないでください。

注意！カウンターバランスやカメラ位置の調整時には、パンバーから絶対に手を放さないでください。

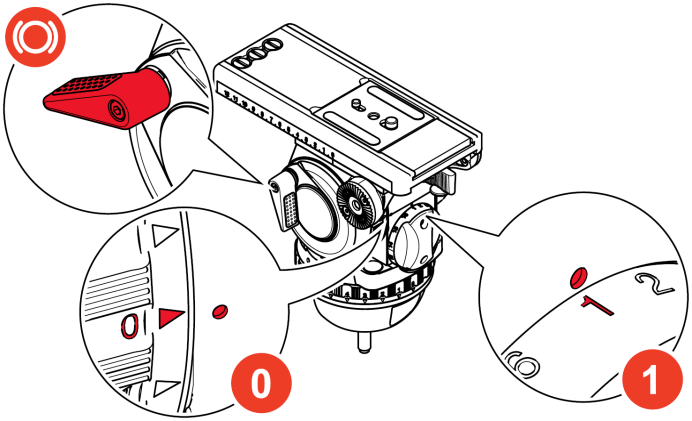
注意！カメラ、パンバー、およびすべてのアクセサリの操作位置への取り付けは、ヘッドのバランス調整前に行ってください。機材を後で取り付けたり調整したりした場合、フルーイドヘッドのバランスに狂いが生じる恐れがあります。

重心の調整

カウンターバランスの調整前に、積載物の重心をフルーイドヘッドの軸の中心に正確に合わせる必要があります。

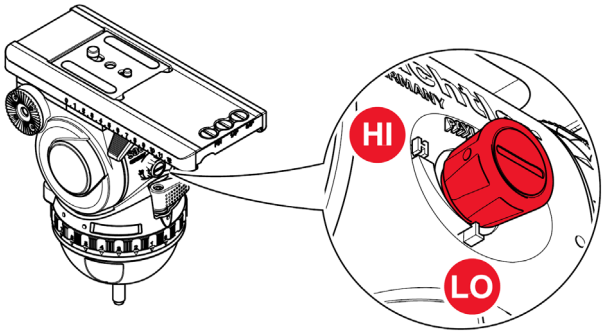
バランス調整前に、ヘッドが水平であることを確認してください。

1. チルトブレーキをかけ、チルトドラッグの設定を「0」に合わせます。カウンターバランス調整ノブを「1」にセットします。カウンターバランスの設定変更は、ヘッドが水平位置を通過する際に有効となりますので、ご注意ください。



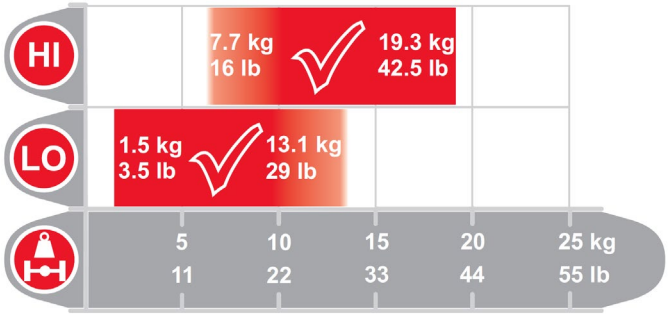
デフォルト状態では、耐荷重域切替スイッチ（ブーストボタン）はHI（高い）に設定されています。

2. 積載物の全重量を評価します。右の表を参照して、耐荷重域切替スイッチ（ブーストボタン）を**LO**または**HI**に適宜セットします。切替スイッチをHIからLOに動かすと、直ちに設定が有効になりますのでご注意ください。HIからLOに動かして有効になるのは、フルーイドヘッドが水平位置を通過したときです。

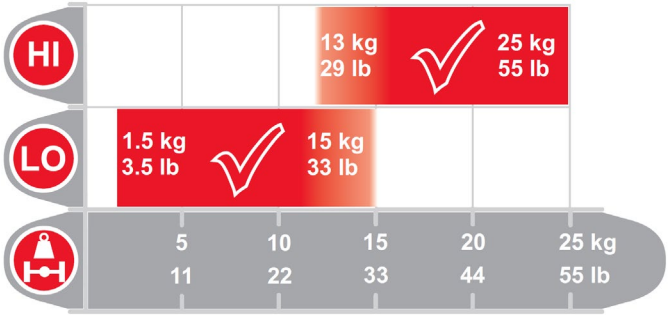


チャート上で耐荷重域が重なる箇所では、**LO**と**HI**の間で設定を試すことが必要な場合がありますのでご注意ください。

Video 18 S2

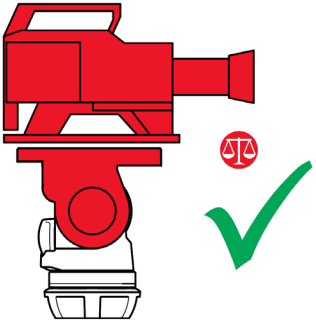


Video 20 S1



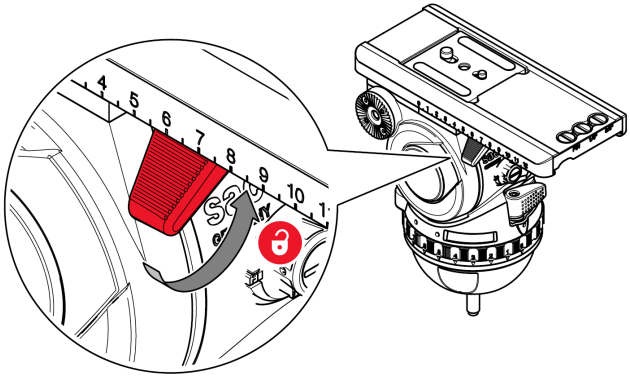
3. パンバーをしっかりと押さえ、垂直ブレーキを外します。積載物の動き方や停止位置を観察します。

プラットフォームが水平位置で止まる(カメラが真っ直ぐ前方を向く)場合やいずれかの方向に均等に傾く場合は、バランスが正しく取れています。

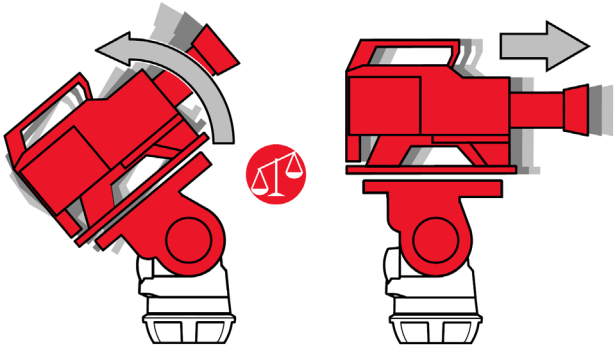


4. 積載物がいずれかの方向に(前後に著しく)傾く場合:

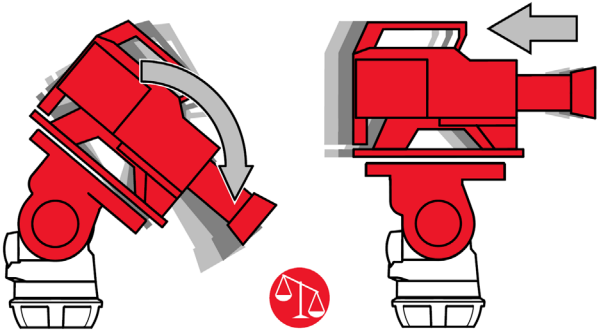
(a) スライド式バランスプレート下部の赤いレバーを一杯に押し戻して、バランスプレートのロックを解放します。



(b) 積載物が後方に傾く(上方を向く)場合は、フルーイドヘッドの前方に積載物をスライドします。スライド式バランスプレートを再度ロックします。



(c) 積載物が前方に傾く(下方を向く)場合は、フルーイドヘッドの後方に積載物をスライドします。スライド式バランスプレートを再度ロックします。

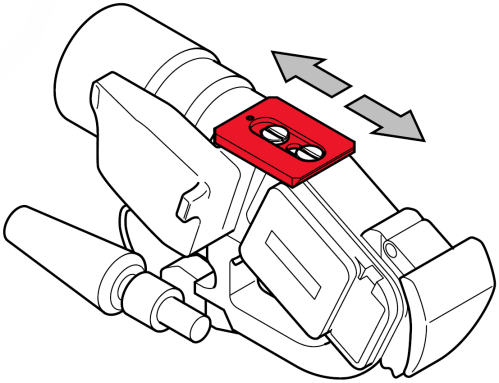


(d) 積載物の動きを再度確認します。さらに調整が必要な場合は、aからcまでの手順を繰り返します。

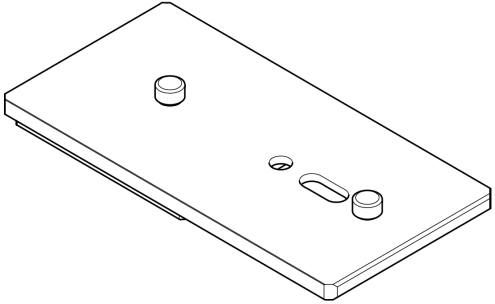
重心の追加調整

通常の方法で積載物の重心を正しくセットできない場合は、以下の方法をお試しください。

1. カメラプレートを動かして、積載物を必要な方向に更にずらします。



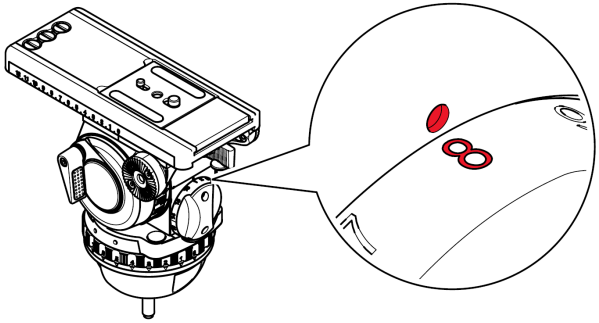
2. アクセサリとして入手可能なC.O.Gプレート(# 1063)を使用します。



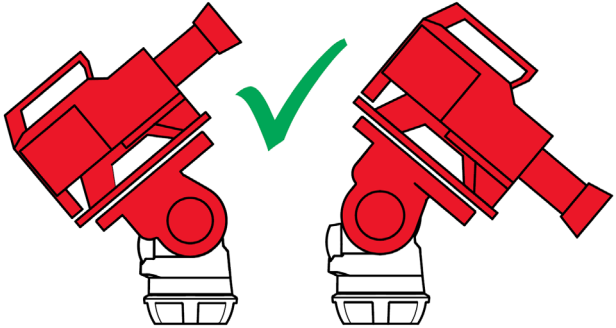
カウンターバランスの調整

積載物のバランスを正確に調整するため、フルーイドヘッドは16段階のカウンターバランスアジャスタを備えています。カウンターバランスを別の設定に変更するには、ヘッドを水平位置より通過させて有効にする必要がありますのでご注意ください。

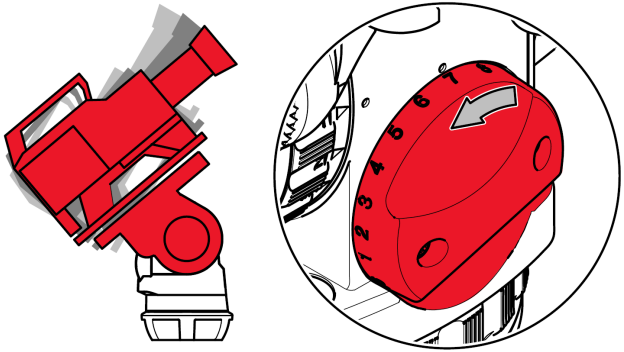
1. カウンターバランス調整ノブを中間設定(8)にセットします。



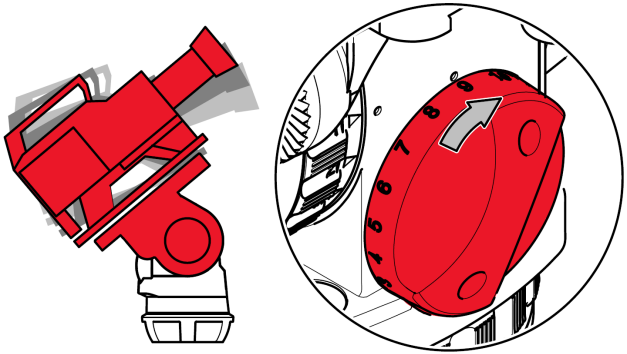
2. 積載物を両方向に約30° チルトして放します。放したときに積載物が同じ位置に留まる場合は、積載物のバランスが正しく取れています。



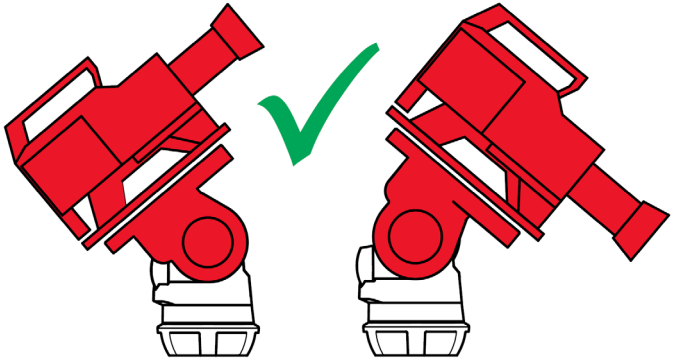
3. 放したときに積載物が上方に動き続ける場合は、バランスが高過ぎる位置にセットされています。バランスアジャスタの設定を1段階ずつ下げてテストし直します。



4. 放したときに積載物が下方に動き続ける場合は、バランスが低過ぎる位置にセットされています。バランスアジャスタの設定を1段階ずつ上げてテストし直します。



5. 積載物をプラスおよびマイナスの移動角度にチルトし、積載物が支えられなくてもあらゆるチルト角に留まることを確認します。



積載物の角度が上下する場合は、バランスが取れるまでバランス調整の手順（手順3～4）を繰り返します。

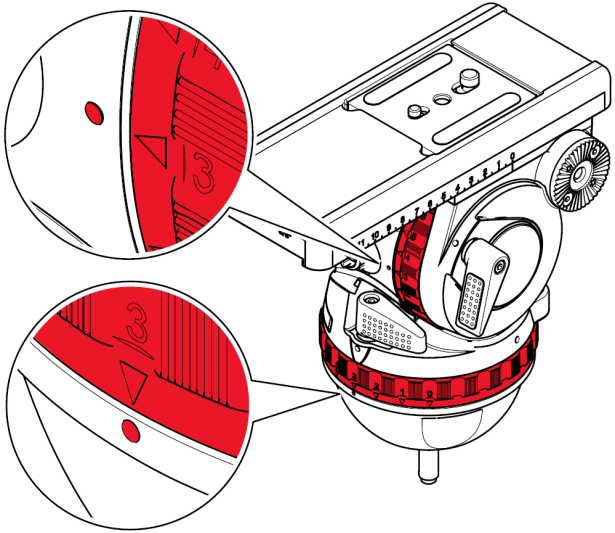
ドラッグの調整

フルーイドヘッドは、7段階のパンおよびチルトドラッグ制御機構を備えています。ドラッグを使用することにより、撮影中にフルーイドヘッドを動かす際の衝撃や振動を排除することができます。また、ドラッグは完全に解除することもできます。

注意！ドラッグダイヤルは、必ず目盛りの位置にセットしてください。ドラッグダイヤルを目盛りの間にセットした場合、フルーイドヘッドに深刻な損傷を発生させる恐れがあります。

水平および垂直制御に同じドラッグ設定値を適用することにより、正確な動きに加え、斜め方向の動きも可能になります。

1. パンおよびチルトドラッグ制御機構を必要な目盛りの位置（1: ドラッグ抵抗最低、7: 最高）に回して矢印を点の目印にそろえます。ブレーキを解除し、カメラをゆっくりとパンまたはチルトしてドラッグをかみ合わせます。



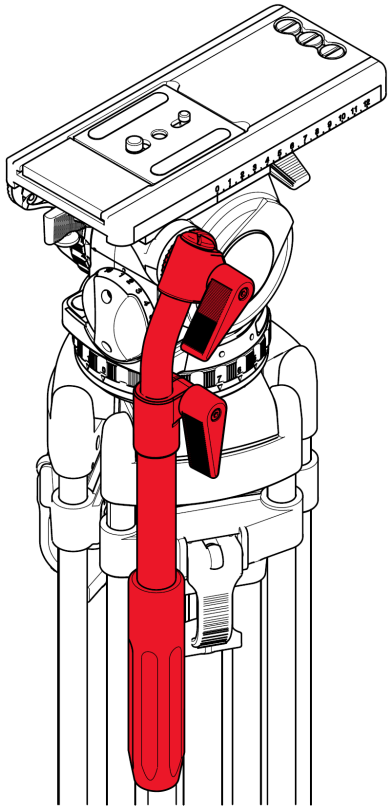
運搬

フルーイドヘッドの長期にわたる製品寿命を通してスムーズで信頼性の高い操作を保証するため、運搬中や保管中はそれぞれの操作部に次の設定を適用してください。

カウンターバランス	最大（**16**）
ドラッグ	最小（**0**）

パンバー装着時の運搬

パンバーを装着した状態でフルーイドヘッドを運搬するときは、損傷を防ぐため、三脚の脚を付けたまま縦置きにしまってください。



電池の装填

自照式バブル水準器の電源は、標準型ボタン電池「CR2032（3V）」1個です。格納先のバッテリーホルダーは、マイナスドライバーを使用して開けることができます。

交換の際には、電池の極性が合っているかを確認してください（プラス側が上面）。

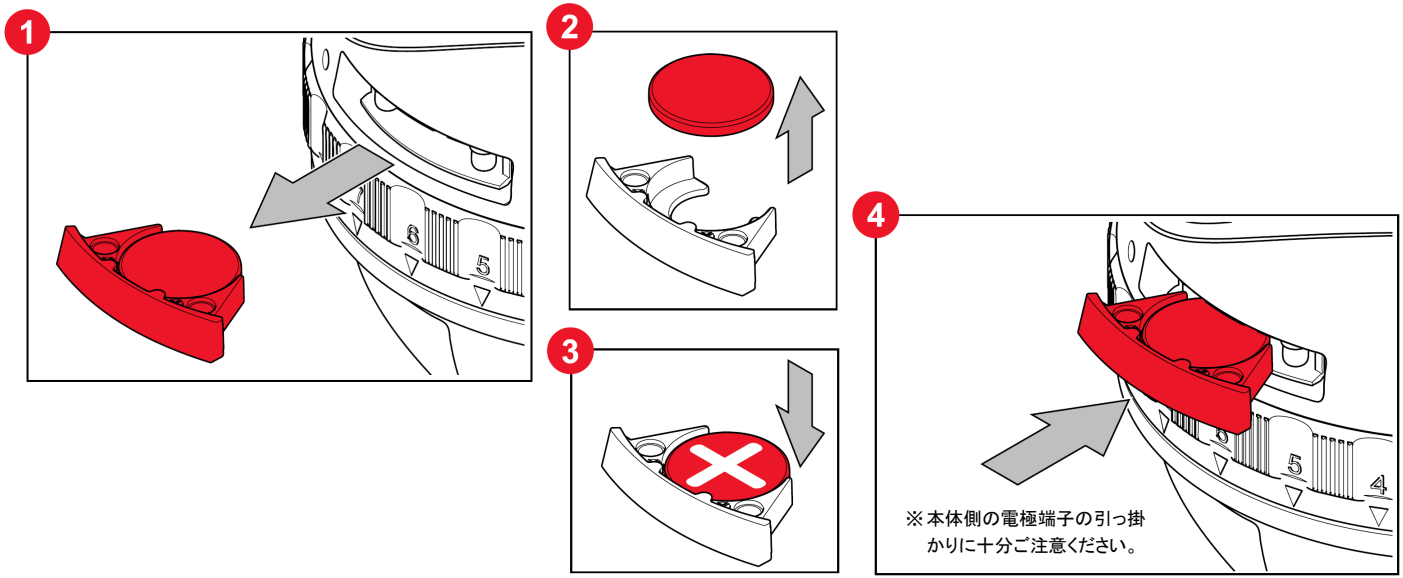
バッテリーホルダーおよび電池を格納する際には、本体側の電極端子の引っ掛かりに十分ご注意ください。

清掃と点検

フルーイドヘッドは、柔らかい布を使用して定期的に清掃してください。比較的ひどい汚れの場合は、柔らかいブラシと軟性の洗剤を使用してください。

日常のメンテナンス

フルーイドヘッドの嵌合ピンが潤滑した状態を確実に維持できるように、定期的にパンおよびチルトドラッグを目盛りの全範囲に渡って動かしてください。



	Video 18 S2：独自項目	Video 21 S1：独自項目
質量	4 kg	4.1 kg
耐荷重域	1.5 kg～19.3 kg	1.5 kg～25 kg
ブーストスイッチ、LO域	1.5 kg～13.1 kg	1.5 kg～15 kg
ブーストスイッチ、HI域	7.7 kg～19.3 kg	13 kg～25 kg

共通項目

高さ
202mm

ドラッグ（パンおよびチルト）
7段階、および0

カウンターバランスの段階
16

カメラプレートのスライド幅
120 mm

温度範囲
−40°C（−40°F）～60°C（140°F）

チルト角範囲
+90° /−70° （カウンターバランスノブの位置による）

カメラ取付具
カメラプレート V18（# 1064） カメラの装着には2 x 3/8”ネジまたは1 x 3/8”ネジ、1 x 1/4”ネジまたは1 x 1/4”ネジ、1ピンを使用

三脚／ペデスタル取付具
100 mmボール

パンバーのタイプ
取り付け時直径18/22/32 mm、長さ350～520 mmの伸縮タイプ

バッテリー
CR 2032、3V

当社は、技術の進歩に基づき本製品を変更する権利を有します。

適合宣言

Videndum Videocom Limitedは、本製品がBS EN ISO 9001:2008に従って製造され、EC Directives（EC指令）2004/108/EG EMCの必須要件および他の関連する規定を遵守していることを宣言します。本適合宣言の複製は、要請次第入手することができます。

環境への配慮

European Union Waste of Electrical and Electronic Equipment（WEEE）Directive（WEEE指令、2012/19/EU）

本製品またはその梱包物に記載されたこのマークは、本製品を一般的な家庭ごみと共に廃棄してはならないことを示します。一部の国々またはEC（ヨーロッパ共同体）地域では、分別収集システムを設立して、電気および電子廃棄製品のリサイクル処理を行っています。本製品の正しい廃棄を確実に行うことにより、環境および人の健康に対する潜在的な悪影響の防止に役立ちます。原料のリサイクルにより、天然資源を保全することができます。

本製品およびその梱包物の廃棄方法については、当社のウェブサイトを参照してください。

EU以外の国々

地元の自治体の規制に従い、電気および電子機器のリサイクルに対応する集積所で本製品を廃棄してください。

廃棄電池の処理

本製品に含まれるすべての電池は、家庭ごみとして処理しないでください。これらの電池の正しい廃棄を確実に行うことにより、環境および人の健康に対する潜在的な悪影響の防止や天然資源の保護に役立ちます。

本製品から安全に電池を取り外す方法については、本書の「電池の交換」の項をお読みください。廃棄電池をリサイクルする場合、適切な集積所に電池を届けてください。

発行番号 S2022-4980/1-J

お問い合わせ先：
ヴィデンダムプロダクションソリューションズ株式会社
〒105-0011　東京都 港区 芝公園 3-1-38
芝公園三丁目ビル 1階
電話：03-5777-8040　FAX：03-5777-8041

大阪オフィス
〒531-0072　大阪市 北区 豊崎 5-2-13
電話：06-6359-2440　FAX：06-6359-2441

www.videndum-vps.jp/
www.sachtler.com/

Sachtler
A Videndum plc Brand

※本取扱説明書の内容は、製品の仕様変更などで予告なく変更になる場合がございます。

Rev.2.0　更新：2022年 6月